

A1-1

課題文

(2) LD ⁶ について

- 食卓は4人掛け円形テーブル ⁶⁻¹ とし、友人との食事を楽しむ場にする。食卓用の椅子 (W520 × D485 × H750) は図-2に示す手持ちの家具 ⁶⁻² を使う。
- 読書などができるように、図-2に示す手持ちのハイバックチェア (W760 × D860 × H970) ⁶⁻³ とオットマン (W650 × D500 × H430) ⁶⁻⁴ に加えて小テーブル1つ ⁶⁻⁵ を配置する。
- 寝室との間の建具は、普段は開け放しにして開放できる ⁶⁻⁶ ようにする。

6 LD

⁶⁻¹ 食卓は、手持ちの4人掛け円形テーブル +

⁶⁻² 手持ちの食卓用の椅子 (W520 × D485 × H750)

4人掛けの円形テーブルのサイズは100~110φですが、手持ちの食卓用の椅子がW520と比較的大きいので、110φとします。キッチンのワークトップ側に45度振ってレイアウトします。

⁶⁻³ 読書などができる、手持ちのハイバックチェア (W760 × D860 × H970) +

⁶⁻⁴ 手持ちのオットマン (W650 × D500 × H430) + ⁶⁻⁵ 小テーブル

小テーブルのサイズは300~450φの丸テーブル、300~450の角テーブルとします。ハイバックチェアをワークコーナー側向きに、食卓と対角になる位置に、その足元にオットマン、左右どちらかに小テーブルをレイアウトします。

⁶⁻⁶ 建具は、普段は開け放しにして開放できる

開け放しにできるという条件から、引き戸が適当です。60代半ばの女性の自宅なので1枚の建具が大きいと重くなるので、4枚引き違い戸とします。

S=1:50

